

倉吉市消防団員等公務災害補償条例第9条の2第1項の規則で定める金額を定める規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和4年3月30日

倉吉市長 石田 耕太郎

倉吉市規則第15号

倉吉市消防団員等公務災害補償条例第9条の2第1項の規則で定める金額を定める規則の一部を改正する規則

倉吉市消防団員等公務災害補償条例第9条の2第1項の規則で定める金額を定める規則（平成18年倉吉市規則第45号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に、下線で示すように改正する。

改正後			改正前		
<p>倉吉市消防団員等公務災害補償条例（昭和43年倉吉市条例第34号）第9条の2第1項の規則で定める金額は、次の表の左欄に掲げる介護を要する状態の区分に応じ、同表の中欄に掲げる介護を受けた日の区分ごとにそれぞれ同表の右欄に掲げる金額とする。</p>			<p>倉吉市消防団員等公務災害補償条例（昭和43年倉吉市条例第34号）第9条の2第1項の規則で定める金額は、次の表の左欄に掲げる介護を要する状態の区分に応じ、同表の中欄に掲げる介護を受けた日の区分ごとにそれぞれ同表の右欄に掲げる金額とする。</p>		
介護を要する状態の区分	介護を受けた日の区分	金額	介護を要する状態の区分	介護を受けた日の区分	金額
常時介護を要する状態	1 略		常時介護を要する状態	1 略	
	2 一の月に親族又はこれに準ずる者による介護を受けた日があるとき（その月に介護に要する費用を支出して介護を受けた日がある場合にあつては、当該介護に要する費用として支出された額が <u>75,290</u> 円以下であるときに限る。）	月額 <u>75,290</u> 円 （新たに介護補償を支給すべき事由が生じた月にあつては、介護に要する費用として支出された額）		常時介護を要する状態	2 一の月に親族又はこれに準ずる者による介護を受けた日があるとき（その月に介護に要する費用を支出して介護を受けた日がある場合にあつては、当該介護に要する費用として支出された額が <u>73,090</u> 円以下であるときに限る。）
随時介護を要する状態	1 略		随時介護を要する状態		1 略
	2 一の月に親族又はこれに準ずる者による介護を受けた日があるとき（その月に介護に要する費用を支出して介護を受けた日がある場合にあつては、当該介護に要する費用として支出された額が <u>37,600</u> 円以下であるときに限る。）	月額 <u>37,600</u> 円 （新たに介護補償を支給すべき事由が生じた月にあつては、介護に要する費用として支出された額）		随時介護を要する状態	2 一の月に親族又はこれに準ずる者による介護を受けた日があるとき（その月に介護に要する費用を支出して介護を受けた日がある場合にあつては、当該介護に要する費用として支出された額が <u>36,500</u> 円以下であるときに限る。）

	円以下であるときに限る。)			円以下であるときに限る。)	
--	---------------	--	--	---------------	--

附 則

(施行期日)

1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則による改正後の倉吉市消防団員等公務災害補償条例第9条の2第1項の規則で定める金額を定める規則の規定は、令和4年4月1日以後の期間に係る介護補償の額について適用し、同日前の期間に係る介護補償の額については、なお従前の例による。